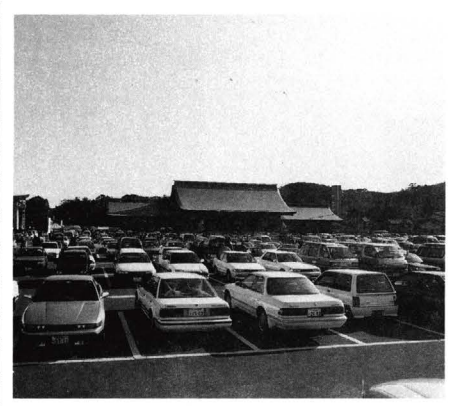




毎月十五日発行 社会大像 宗像 東京都港区赤坂南一丁目三番三番 電話 0940-62-1311 90 定価 一年送料共 1000 円

平成五年の輝ける初春

例年以上の参拝者で大いに賑った社頭



不景気のせいかな、なんと飛躍の年にしようとう願う多勢の参拝者で、当社社頭の好の日和にも恵まれ、近年にない賑いとなった。平成四年大晦日、一年の最後を締めくくる大祝式並びに除夜祭を斎行し、後はただ平成五年の年明けを待つばかりであった。漆黒の境

神具・装束 株式会社 井筒

福岡店 福岡市博多区東公園二丁目三番二番 電話 093-365-1941 (代) 2500
本店 京都市下北区油小路六条北入一丁目四番 電話 京都 075-334-3134

内にてライトアップされた本殿がくっきりと浮かび上がり、静寂の中で赤くゆめめく庭燈は、幽玄の世界を感じさせるものがあった。平成五年の足音がすぐそこ迄に近づいた午後十時頃より、当社社頭新年を迎えようとする若者男女が続々と訪れ、午後十一時過ぎには、正面大駐車場を始め第一、第三駐車場、隣接アケシス安海駐車場合計収容能力、〇〇台も既に満車状態となった。神門前も開扉を待つ参拝者で立錫の余地もない程であった。平成五年元旦午前零時、ドンドンと腹の底に響くような大太鼓の合図と共に、左衛門消防団員により神門が開かれますと、開扉を今や遅しと待ち受けていた参拝者は、一斉に本殿へと駆けつけ、家内安全、交通安全など本年一年の平穏と無事に祈りを込めて参拝した。

面を吹き飛ばしたようであった。一方大駐車場正面の祈願殿では、今年は無事故を願う交通安全祈願祭が遂行されることとなり、宗像市、神楽、芦屋方面から当然、参拝者が大いに賑った。

に近頃の団体参拝もあり、宗像大社の御加護を受け、本年も輝ける年であるように願う人々が例年以上に参拝、社頭はここ数年では最高の参拝者で大いに賑った。

神界にあって、来たるべき皇太子殿下の御成婚は、総力をもちて奉祝申し上げるべき機会だと思ふ。しかもこの素晴らしい慶事が行われる今年が、奇しくも伊勢の神宮の式年遷宮の年にあることも我々の喜びを倍加させる。今年の正月は国民が苦しく暗い一年を予想し、時流の転換を求めて全国に神事に参画した。神々は国民の切なる希望に耳を傾けられ、とっておきの新しいニューズを提供された。

私はこの「神の恵み」を難問を乗り切って進む何より力となる。これを機会に読者諸君のより活力ある各方面での御活躍を期待する。それこそが、八百万の神々に応える最善の道だと信ずる。最も素晴らしい皇太子殿下御成婚を奉祝する国民の「意思表明」を、皇太子妃決定という格別の慶事を、国民皆で御覧になること、に異論のある「日本人」はある苦がある。とりわけ皇室の御成婚を日夜祈り続ける

事を祈って、ひたすら手を合わせていた。参拝者が打つ拍手、お礼やお守、破魔矢、福迎えなどお正月授与品を受ける人々の声、年頭祈願祭の開始、鐘を打つ太鼓の音が交錯する社頭には、それ迄静寂に包まれていただけに、将

車面のヘッドライトの列が連なった。本年は四日に仕事始めの処が多く、家族連れの参拝者は三ヶ日に集中、昼夜を問わない状態であった。四日からは会社、官公庁関係の参拝が多く、景気回復への強い願いが込められていた。

NHKラジオ「私の本棚」で小松左京氏の「鳥と人」が紹介された。以下著書の一部、余瀛書の要約である。「南太平洋赤道直下、ソロモン諸島の北に周囲十九キロ、面積千二平方キロの島国がある。ナウル共和国は膨大なリチウムを所有し、探掘年間で、百二十万トンにも上がるからだ。このリチウムは、海鳥の糞が何十年かの間に堆積し、サンゴ礁の炭酸カルシウムと反応してリン灰石になったものだ。リン酸肥料位しか思わぬ原料がリン酸誘導体は生物体の重要成分で、(生き生物)は全てその生命エネルギー源を、リンの化合物、ATP (アデノシン三リン酸) という物質の化学結合エネルギー、またその放出によって得られ、またその逆の反応によって生体組織にエネルギーが蓄えられる。

動物タンパクはリンを含み、とくに血液、卵黄、神経、脳などは多量に含まれ、脊椎動物の骨、歯、爪、毛などには、リン灰石と同様な物質が含まれている。動物の排泄物はリンに富んでいる。地球上どこにでもリンがあるわけはない。長い年月の間には、高所から低地へ、更に海へ、と無機塩類は流れ行く。海から山へリチウムの還元、地球上の「基礎生命物質」の循環に、渡り鳥が果たした役割は大きい。

地球上の生物の営みを大く、それを破壊しない資源の開発、採取を考えたいと思ふ。

さる一月十九日の皇委会議で、小和田雅子さんが皇太子妃になられることが満場一致で決定され、直ちに正式発表された。この日、東京の空は晴れわたたり、日本のすみずみにいたるまで、明るい喜びの気持が満ち溢れていた。君民一体の日本の伝統はまことにありがたい。皇委の御慶事は全国民の喜びとなり、この日は日本中が折からの不況や様々な憂鬱を、しばしば忘れたような明るい空気に包まれたし、全国民の神社には、わざわざ仕事の時間のやりくりをつけて、皇太子妃の内定を神々にお礼参りする多くの善男善女の姿も見られた。本紙としても、まず何がさて置き、心からなる祝意を表しよ。

さて、皇委では、皇室会議での決定を見て、今後「納めの儀」、「成約奉告の儀」と、御成婚までの儀、「成約奉告の儀」を行われる。前例によると、一般の結婚に於ける納めの儀に先立ち、

これら現皇陛下への御進講のあたりは、まず宮中祭祀から始められ、神宮祭祀の御奉告と格別なる御徳を身に付けられなければならない。その御苦労の程を我々が十分に御察し申し上げる。

日本の皇室は記紀の神話に源を発し、主として悠久にして世界独自の歴史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。

皇史の御慶事は全国民の喜びである。主として悠久にして世界独自の歴史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。

皇史の御慶事は全国民の喜びである。主として悠久にして世界独自の歴史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。

皇史の御慶事は全国民の喜びである。主として悠久にして世界独自の歴史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。

皇史の御慶事は全国民の喜びである。主として悠久にして世界独自の歴史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。

皇史の御慶事は全国民の喜びである。主として悠久にして世界独自の歴史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。

皇太子妃殿下の内定

これは現皇陛下への御進講のあたりは、まず宮中祭祀から始められ、神宮祭祀の御奉告と格別なる御徳を身に付けられなければならない。その御苦労の程を我々が十分に御察し申し上げる。

日本の皇室は記紀の神話に源を発し、主として悠久にして世界独自の歴史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。

皇史の御慶事は全国民の喜びである。主として悠久にして世界独自の歴史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。

皇史の御慶事は全国民の喜びである。主として悠久にして世界独自の歴史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。

皇史の御慶事は全国民の喜びである。主として悠久にして世界独自の歴史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。

皇史の御慶事は全国民の喜びである。主として悠久にして世界独自の歴史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。

皇史の御慶事は全国民の喜びである。主として悠久にして世界独自の歴史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。

皇史の御慶事は全国民の喜びである。主として悠久にして世界独自の歴史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。国民ははるかに皇史を重んじてきた。

赤間 二宮 末子 揚る風流ちる風あり子供等の喜々たる声は山に木霊す歌のまたも逝きたる母に因りゆく

大島 河野 英子 屋久島の一連の瀧の落ちるそは白丈の崖巨岩よりなる

第三〇回 宗像大社歌会詠草 中村 吾郎 選

田熊 驚頭かつた 建築の現場の音も人声も午の時報にひと止みたり

大島 河野 英子 屋久島の一連の瀧の落ちるそは白丈の崖巨岩よりなる

節分祭 齋行

悪鬼・邪鬼を払う追儺の儀

本年の開運厄除を祈る節分祭が二月九日午前十一時、より当社新願殿に於て齋行された。



節分とは立春の前日、暦の上では冬が終り、春に移る節目とされ、この季節の変わり目は、邪気を招き、災禍をもたらすと云われている。この災禍を祓う意味で「オニヤライ」と呼ばれ、疫鬼を追い払い追儺の行事が全国の社寺で行われている。

立春にふさわしい祭典日和となつた新願殿には、伊豆県議、加藤啓憲署長、郡内各町長、氏会評議員、玄海幼稚園児、祭典協賛者、一般参拝者約二百名が参列。定期、義文司以下、神職、祝詞奉讀の後、参列者代表が玉串奉札を行

い、一同歌慶に本年の災難消除、延命招福を祈念した。次に、折願殿石舞台にて左右、至に別殿神職が、各々弓、矢を執り、東北天

ピカピカの新車をお祝い

トヨタ自動車九州株参拝

年が明けて間もない一月八日、当社御本殿においてトヨタ自動車九州株の新型車交通安全祈願祭が斎行された。

お祝いの後、商主により新型車の交通安全並びに同社の業務安全、繁栄を祈願する祝詞が奉讀された。引き続き、中村社長以下の玉串奉札が行われ、齋行は終了した。齋主以下一同神門前の所へと場所を移し、神職二名により一五三丁丁庫などお祝いをし、連の神事は滞りなく納められた。

特別に境内神門前敷所に並べられ準備が整った。

役社長・中村克郎氏以下役員十名が昇殿、齋祭が開始された。



空と南西の地上七三度射する「鳴弦の儀」が行われ、宗像大神の御神威により天宮地上の邪気が祓られた。

文化財防火デー防火訓練

重要文化財の本・拜殿を守れと

第二十九回文化財防火デー(二月二十六日)を前に二十一日、当社自衛消防団(四十二名)と玄海町消防団第一分団(十四名)との合同防火訓練が行われた。



午前十一時、本殿裏の森より出火。国の重要文化財である本・拜殿に火勢が迫るとの想定で行われ、火災合同防火訓練が行われた。

また大島は漁業中心の島であり、その生活や行事は旧暦で行われることが多い。その一つである旧正月祭は大島新願殿が、二月三日(月)二十三日(日)斎行された。午前十一時、沖中両高峯賢堂、両高峯賢堂合同、同業関係者多数が参列し、正月を寿くと共に、大漁を願う歌慶と祈りが捧げられた。祭典終了後、沖津宮・中津宮へ献魚。

報告後、通報で駆け付けた玄海町消防団第一分団が加わり、約十分後に無事に巫女がバックウレで初期消火にあたり、施設消防団の神職は境内の消火栓と心字池にホースをつなぎ放水、頭からしぶきを浴びながら、頭からしぶきを浴びながら消火活動を行った。

に火を消し、万が一備えた。文化財防火デーは、昭和二十四年一月二十六日、失火により貴重な国民的財産である法隆寺金堂裏面を焼失したことから、文化財保護と防火管理体制の意識を高めるため設けられたもので、この日を中心に全国で文化財を火災から守れと、防火訓練が行われている。

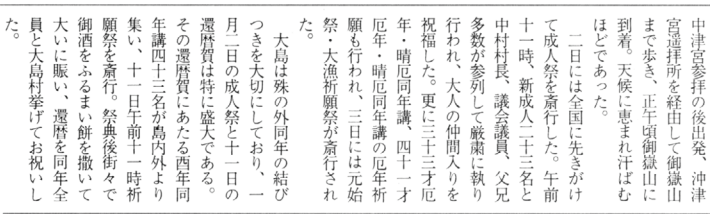
筑前大島の正月

一足早い成人祭など

午前七時、歳旦祭を斎行。皇室・國家の弥栄と國民の幸福が祈念された。また海濱(昭和七年)青年仲間は「云々」も例年同様行われ、中津宮参拝の後、出陣、沖津宮通所を経て御嶽山まで歩き、正午頃御嶽山に到着。天候に恵まれ汗ばむほどであった。

一日には全国に先きがけて成人祭を斎行した。午前十一時、新成人二十三名と中村社長、議事員、父兄多数が参列して厳粛に執行された。更に三十三才厄年・晴厄同年講の厄年祈願も行われ、三日には元始祭・大漁祈願祭が斎行された。

大島は殊の外同年の結びつきが大切にされており、一月二日の成人祭と十一日の還暦祭は特に盛大である。その還暦祭にあつた西青年年講十三名が島内外より集い、十四日午前十一時祈願祭を斎行。祭典後街々で御酒をふるまい、餅を撒いて大いに賑い、還暦を同年全員と大島村等でお祝いした。この福みじは大変な人気であった。



神前に参り、一年の平安を祈念する相手の音が続いた。境内に設けられた福みじ授け所は、初詣者さまに参拝者、里山の人だかりとなり、本年の福運や如何にと「福みじ」は大変な人気であった。

献米奉告祭齋行

氏子会評議員の三氏を表彰

新春の一月十三日(水)午前十一時より恒例の献米奉告祭が斎行された。この献米奉告祭は、旧年中に奉告された氏子の方々より奉告された、新米を御神前にお供へし、昨年の五穀豊穡を始め私達の暮らしをお護り戴いたの誠意に感謝すると共に、この新しい年、安全を祈念申し上げるの意を表す。当且、義文司以下神職と共に、氏奉告使として宗像市陸軍少佐の評議員貞真良氏等が奉告された。

この奉告使は、春の大祭と本祭の年三回、郡内氏子の代表として奉仕している。数日後、通報で駆け付けた玄海町消防団第一分団が加わり、約十分後に無事に巫女がバックウレで初期消火にあたり、施設消防団の神職は境内の消火栓と心字池にホースをつなぎ放水、頭からしぶきを浴びながら、頭からしぶきを浴びながら消火活動を行った。

【平成四年十二月】
 十二月一日 月次祭 宗像警署署長加藤昌隆氏参拝
 十二月七日 石川島掃部重工業(株)第一工場長遠藤博氏、同工部長津田田島輝氏、同営業部長小林久之氏外一名参拝
 十二月十三日 沖中両高峯賢堂合同、同業関係者多数が参列し、正月を寿くと共に、大漁を願う歌慶と祈りが捧げられた。祭典終了後、沖津宮・中津宮へ献魚。

【平成五年一月】
 一月一日 元日祭 九州旅券鉄道局長石井孝孝氏外十四名参拝
 一月十日 正月祭関係四者会談
 一月十五日 宗像大社早月祭地鎮祭
 一月十八日 古良祭・鎮火祭
 一月十八日 出光興産(株)東京支店五輪古田氏参拝
 一月十九日 松尾社祭
 一月二十日 浄化槽竣工式
 一月二十一日 北海道石油共同備蓄圏北海道事務

業所長白石景光氏、同安全防火部長相良六郎氏参拝
 香椎税務署長齋藤長柳田良氏外一名参拝
 四月光通連傘木
 十二月二十三日 天長祭 臨時職員会議
 十二月二十五日 玄海町消防団旗入魂式町長和田延広氏、町長出田昭氏外関係者参列
 福岡県警察本部交通部長石井研志氏、宗像警察署長加藤隆氏外二名参拝
 福岡銀行常務理事重光氏・同宗像支店長浦田一光氏参拝
 十二月二十六日 玄海町消防団第一分団正月祭齋行
 十二月二十八日 長崎市土田グループ社長土田一了氏参拝
 九州旅券鉄道技術課主任本部企画係長田儀氏外一名参拝
 十二月二十九日 鹿島船客こう店次長水嶋修行氏外一名参拝
 十二月三十一日 大儀式・除夜祭

第三十六回 宗像マラソン大会

約八百名が新春の宗像路を力走



絶好のマラソン日和に恵まれた二月二十四日(日)、第三十六回宗像マラソン大会主催の宗像マラソン大会(主催、宗像市、宗像市体育協会、後援、宗像市、宗像市、宗像市)が新春の宗像路で健脚を競った。

毎年県内陸上競技の幕開けを飾るこの大会は、長距離ランナーにとってその年のスタートを切る大会でもある。本年も県内はもとより、熊本県の鎮西高校陸上部や山口県の親子ランナーも参加、10kmの部と5kmの部、男子一般・学生、同高生、同中学生、女子一般・学生、健康マラソンの二部六種目で、アツドヒートが繰り広げられた。

大会は、当大社正面大鳥

- ※健康マラソンの部
- 一位 中庭 大介(城山出)
 - 二位 森屋 伸介(城山中)
 - 三位 水落 勝彦(城山中)
- ※小学生の部
- 一位 塚本 真一(鎮西高)
 - 二位 若狭 武(東福岡)
 - 三位 斎藤 隆広(中間高)
- ※中学生の部
- 一位 横大路智規(粕屋陸)
 - 二位 神宮 啓介(粕屋陸)
 - 三位 関 孝行(粕屋陸)

- ※健康マラソンの部
- 一位 上村 俊之(宇部西)
 - 二位 石川 真紀(城山中)
 - 三位 今泉泰緒子(篠栗中)
- ※小学生の部
- 一位 東村 豊文(西鉄)
 - 二位 矢羽田伸一(福大附)
 - 三位 東 勝博(鎮西高)

「えい、えい、えい」
 刈初めの儀での宮司様のこの声聞いたとき、私は、改めて自分の責任の重さを感銘しました。それは、正月まであと4ヶ月、すなわち、工事期があと4ヶ月という現実を突きつけてくるのです。8月31日、風の強い日のことでした。

処理水量60%、放流水質BOD10、予備槽を3槽備えた浄化槽と、それにすべての汚水を流入させる管路的構造。工事の量と工期を考慮合わせると、時間と労力の無駄は全く許されません。そこで最良の工法と最短の工程を選びながら、工事を進めていきました。幸い、天が味方をしてくれたので、この工事期間に雨のために作業を中止したの日は一日半という驚くべき結果で、なんとか完成することができました。

しかし、振り返ってみれば、工事が秋にかかたため、秋の大祭、菊花展など行事が目白押しで、工事が目白押しに制約があつたこと、また掘削深度が、釣川の水位より低いための湧水に悩まされたこと、工事が終わった今になって、決して容易ではなかつたと実感しているところまで。今回の仕事は、自己満足ではありませんが、良い出来栄であつたと信じています。あとは、この浄化槽が良好な水質の処理水を放流して、地球環境の保全に少しでも貢献できれば申し上げます。

株式会社九電工
 下出山秀人
 目原副会長は、昭和十三年教職につかれ、昭和四十九年退職。昭和二十七年間、教育の原点は人づくりをモットーに、何れは国を背負って行かなければならぬと、昭和四十九年九州大高等学校長退任後、福岡県立少年自然の家指導員として、更に同年十月には大鳥村教育長に就任、平成二年退職。この水年に亘る学校教育、社会教育に於ける功勞が今回の叙勲となった。同氏は、昭和六十三年には文部大臣表彰、平成三年には福岡県教育文化功勞者表彰も受けておられ、教育界に於ける同氏の功績が多大であつたことが伺える。

長岡洋氏外関連会社社長等二十一名
 新出光・新出光不動産社長出光豊氏外四十三名
 出光芳秀氏外七名
 大和ハウス工業福岡工場・山久プラント工場・堀川プラント・山崎製パン福岡工場等
 一月五日 西日本鉄道㈱社長長本尚行氏外二三名
 航空自衛隊西部航空施設隊・西鉄福岡支店・日本通運福岡支店・安川プラントエンジニアリング㈱・東海大第五高校野球部等
 一月六日 西日本旅客鉄道福岡支店・同総合企画本部技術開発推進部
 試験実施部・同博多新幹線連運九州支店・日立建機㈱九州支店・がみブレジエントホール等
 一月七日 出光興産㈱会長大和勝氏・出光エンジニアリング㈱社長寺高純一氏外四名
 出光アパレル㈱社長鈴木一己氏外一名
 石川興産㈱市役所前支店・船田四十六名
 九州共立大硬式野球部
 一月八日 福岡県交通安全協会福岡大屋敷支店外九十二名
 一月九日 宗像市交通安全協会
 一月十日 宗像市交通安全協会
 一月十一日 宗像市交通安全協会
 一月十二日 宗像市交通安全協会
 一月十三日 宗像市交通安全協会
 一月十四日 宗像市交通安全協会
 一月十五日 宗像市交通安全協会

宗像市交通安全協会
 一月十六日 宗像市交通安全協会
 一月十七日 宗像市交通安全協会
 一月十八日 宗像市交通安全協会
 一月十九日 宗像市交通安全協会
 一月二十日 宗像市交通安全協会
 一月二十一日 宗像市交通安全協会
 一月二十二日 宗像市交通安全協会
 一月二十三日 宗像市交通安全協会
 一月二十四日 宗像市交通安全協会
 一月二十五日 宗像市交通安全協会
 一月二十六日 宗像市交通安全協会
 一月二十七日 宗像市交通安全協会
 一月二十八日 宗像市交通安全協会
 一月二十九日 宗像市交通安全協会
 一月三十日 宗像市交通安全協会

宗像市郡合併推進

宗像市郡合併推進 理事長 吉井英海



よりよいまちづくりを目指して

バブル崩壊以来、昨今のたが、それぞれの利害が対立し、現実にはなかなか思いうる改革が行われていないのが実情です。しかし、戦後の私たちの生活の変化を見ただけでも、石炭から石油、原子力へのエネルギー転換、モーターリゼーションによる自動車社会の普及、物流革命、電子技術の発達による情報革命と私たちの生活様式は、より便利で豊かになりました。ですから行政のあり方も、今の、その生活様式に合わせた生活様式に合わせた行政のあり方を、今、その課題の多くは、それぞれの市町村単独で解決するより

居前スタート、大駐車場、ゴールのコースで競われ、午前十時、健康マラソンの部参加の老若男女約二百名が、号砲と共に勢いよくスタートして競技を開始。以後十分間隔で男子中学生の部、同高校生部の部と種目毎に順次スタート、選手種目は参拝者や沿道からの声援を受け力走、白熱したレースが展開された。

尚、今大会の入賞者、記録は次の通りである。

- ※健康マラソンの部
- 一位 中庭 大介(城山出)
 - 二位 森屋 伸介(城山中)
 - 三位 水落 勝彦(城山中)
- ※小学生の部
- 一位 塚本 真一(鎮西高)
 - 二位 若狭 武(東福岡)
 - 三位 斎藤 隆広(中間高)
- ※中学生の部
- 一位 横大路智規(粕屋陸)
 - 二位 神宮 啓介(粕屋陸)
 - 三位 関 孝行(粕屋陸)

道りであると思ひますが、地道に活動を続けて参る所存です。

宗像市郡合併推進協議会は、本年度、主要事業として、市郡の合併推進、福岡ブロック大会の開催、ふるさと交流事業、その種々の事業を通して、地域に役立つ人材の育成をして参ります。

宗像という掛け替えない郷土をより良くしようと望む気持ちは、皆同じと信じています。宗像の個性を活かしたまちづくりを目指して、全員の力で支え、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

平成五年度役員

理事長 吉井 英海
 直前理事長 井上 清隆
 監事 古賀 信和
 副理事長 水島 勝次
 専務理事 権田富士男
 常任理事 石松 幸夫
 事務局長 木下 誠司
 総務・広報委員長 高倉 均
 例会運営委員長 長川島 猛
 指導力開発委員長 天理 龍二
 会員拡大特別委員長 本田 貢
 20周年準備特別委員長 水田 雅樹
 まつり特別委員長 安永 修二
 地域開発委員長 野田 博仁
 会員開発委員長 上田 清成
 日本JOC「もったいない運動」推進委員長 長谷川 誠

目原奉賛会長 叙勲

宗像市交通安全協会
 一月十六日 宗像市交通安全協会
 一月十七日 宗像市交通安全協会
 一月十八日 宗像市交通安全協会
 一月十九日 宗像市交通安全協会
 一月二十日 宗像市交通安全協会
 一月二十一日 宗像市交通安全協会
 一月二十二日 宗像市交通安全協会
 一月二十三日 宗像市交通安全協会
 一月二十四日 宗像市交通安全協会
 一月二十五日 宗像市交通安全協会
 一月二十六日 宗像市交通安全協会
 一月二十七日 宗像市交通安全協会
 一月二十八日 宗像市交通安全協会
 一月二十九日 宗像市交通安全協会
 一月三十日 宗像市交通安全協会

宗像市交通安全協会
 一月十六日 宗像市交通安全協会
 一月十七日 宗像市交通安全協会
 一月十八日 宗像市交通安全協会
 一月十九日 宗像市交通安全協会
 一月二十日 宗像市交通安全協会
 一月二十一日 宗像市交通安全協会
 一月二十二日 宗像市交通安全協会
 一月二十三日 宗像市交通安全協会
 一月二十四日 宗像市交通安全協会
 一月二十五日 宗像市交通安全協会
 一月二十六日 宗像市交通安全協会
 一月二十七日 宗像市交通安全協会
 一月二十八日 宗像市交通安全協会
 一月二十九日 宗像市交通安全協会
 一月三十日 宗像市交通安全協会

浄化槽完成

排水処理施設の建設を終えて



幸いと思つています。最後に、紙上で申し訳ございませんが、今回の浄化槽の工事に対して御協力、御尽力いただいた宮司様はじめ職員の皆様には、御礼を申し上げます。

